

日本の珍しいかいこ展

お蚕さんのマユは白だけだと思いませんか？
実は黄色、オレンジ、緑など様々な色をしたマユがあります。
そんなカラフルなマユをクスサンのマユなどと一緒にクリスマスツリーのイルミネーションにしてみました。

マユにしか出せない、あたたかい幻想的な光をぜひご観覧ください。また、そんな綺麗な糸をつくる姫蚕、黒繭、形蚕、こぶ蚕、油蚕も展示しています。

開催期間 11月下旬から1月下旬まで
開催場所 オオムラサキセンター
協力 農業生物資源研究所、峡南地域振興局農務部、
山梨県総合農業試験場



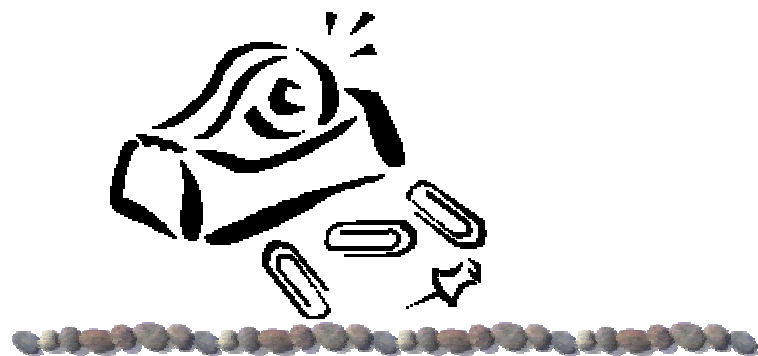
はやがわり虫の作品展

廃品や身近なもので作った面白くてかわいい虫
たちを点展示します。

近藤先生が命をふき込んだ虫たちに出会って
ください。

開催期間 1月27日(日)から
4月7日(日)まで

開催場所 オオムラサキセンター
協力 近藤芳弘氏(造形作家)
「アレコレ 虫にはやがわり」道出版著



イベント情報

ボランティアの日

オオムラサキセンターのお手伝いをして
下さい。

開催日時 1月12日(土)
午前10時から12時まで
開催場所 オオムラサキ自然公園
内 容 随時内容が変わります
(草刈り、笹刈り、川のゴミ拾い等)
服 装 作業のできる服装、軍手

あれっ 虫にはやがわり

廃品や身近なものを使ってアレコレ
おもしろい虫を作っちゃおう。

開催日時 1月27日(日)
午前10時から12時
定 員 20名
開催場所 オオムラサキセンター
* 持っている方はラジオペンチ、空き箱
(30×30)小さめの廃品を持参し
てください。



お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地

長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

オオムラサキ通信

No.44

発行：平成13年12月19日
編集：長坂町オオムラサキセンター
〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
TEL&Fax 0551-32-6648

オオムラサキの幼虫は今、落ち葉の下で越冬しています。(オオムラサキは秋、自分の力で木から降り冬、木の根元の適度に湿った落ち葉に台座を作り、はりついてじっとしています。)

今年は暖かい日が続いていましたが、ここ二、三日で急に冷え込んできました。オオムラサキの幼虫はどうしているか、心配です。

越冬幼虫観察会では親子19名が参加し、「びばりうむ 長坂」(オオムラサキ生態観察施設)内のエノキの根元にどのくらい幼虫がいるか「自然とオオムラサキに親しむ会」の朝日竹夫氏を講師にお迎えし、調査した結果は下記のとおりです。

調査木	幼虫数
No. 1	204
No. 11	77
No. 16	52
計	333

いた いた オオムラサキ!!

「虫たちの 冬じたく 冬ごもり」実施報告

12月2日に「びばりうむ 長坂」内のオオムラサキの幼虫数を調べました。オオムラサキは冬、幼虫で木の根元の落ち葉にはりついて冬を越します。その時に棲みかにしているエノキの木1本につきどのくらいのオオムラサキが居るのか、調べられます。

参加者の方々と3本の木を調べ、合計で333匹のオオムラサキの幼虫を確認しました。参加者ははじめて見るオオムラサキの幼虫に驚いたり、発見するとうれしくて歓声を上げていました。その後、寒さで冷えた体を温める郷土食かぼちゃほうとうを食べながら、人と虫の冬越しについて考えました。虫たちもこの寒い冬を乗り越えてほしいものです。3月24日(日)にも行ないます。参加をお待ちしております。



エノキコーナー vol 10

=年の瀬に=

朝日 竹夫

国蝶オオムラサキを守る会では、12月1日(土)に長坂町日野地区のC4発生地標本木調査を行いました。オオムラサキセンターからも調査に職員が駆けつけ、調査をしました。調査結果は、以下の通です。

	東	南	北	西	計
オオムラサキ	4	0	1	17	22
ゴマダラチョウ	0	0	0	3	3
	カメムシ 1 クモ 2 土クモ 1 その他 2	カメムシ 1 クモ 2 その他 1	カメムシ 1 クモ 3 その他 1	カメムシ 1 クモ 5	

2002年3月下旬には、どのくらいオオムラサキの幼虫が厳しい冬を越すことが出来たか、調査を行います。ぜひ、参加してください。

今年も後少しとなりましたが、お体にはお氣をつけてお過ごし下さい。
来年、2002年もよろしく願いいたします。

オオムラサキ自然公園の様子

日が沈み夜が来るのがとても早くなりました。日の入りで季節の移り変わりを感じる事ができるのですね。それではオオムラサキ自然公園を紹介しましょう。

だいぶ、木の葉が落ちてしまったので歩いていると残った1枚の紅い葉にはとすることがあったり、緑の葉を見つけて植物の力強さを感じたりします。レンギョウが1、2輪、狂い咲きしているのにもあっと声をあげてしまいます。木の姿、樹冠や冬芽を観察するには、今の冬の時期が一番です。ぜひ一緒に観察しましょう。

<昆虫たちの様子>

キタテハが足元で日向ぼっこをしていました。冬、成虫(チョウ)で過すものがありますが、キタテハもその一つです。チョウは体温が上がらないと飛べないので羽を広げて日の光を集めて体温を上げます。

ユキヤナギの冬芽が紅くてとてもきれいです。今年は紅葉がとてもきれいでしたが、楽しめた期間も長かったです。右の写真は12月5日に撮影したものです。今は葉が落ちてしまいましたが、紅い色素が木のあちらこちらに残っています。白くて雪の様という事から名が付いたのに白い花が咲く時この色はどこにしまわれてしまうのでしょうか。雪が舞い始めたこのごろふと思いました。



ひなたぼっこするキタテハ

ユキヤナギの紅葉(12月5日撮影)



星空観察会実施報告

12月8日(土)午後7時30分から、長坂町秋田小学校校庭で町内外から35名の参加者が集まり星空観察会が行われました。寒さは厳しかったものの、天気に恵まれ、アルビレオ(白鳥座の星)、アンドロメダ銀河、土星、オリオン星雲、すばる、木星などを観察できました。

また、暖を取るために玄関で、しし座流星群の様子、12月8日当日観察できる星団、星雲を紹介したスライドを上映していただきました。

牛山先生に春、夏、秋、冬の星座を順に夜空を見上げながら、分かりやすく説明していただきました。参加者も楽しくて時間を忘れてしまい、アンコールでいくつも天体望遠鏡を覗いていました。すばるは先生に言わせると約90%位で観察できたということです。運が良かったです!!

昨年の星空観察会の様子

今年はフラッシュで観察会を妨げないように撮影しませんでした。



「カブトムシの森づくり」の様子

今年も後少し...

2001年も後、少しとなりました。本年中、皆様には暖かいご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

来年、2002年には森林科学館が完成します。森林科学館竣工記念事業として様々なイベントを行ないますのでふるってご参加ください。今後もより良い施設を目指して職員一同、頑張っていきたいと思ひます。

よろしくお願いいたします。

かいに展、イルミネーションの様子



天蚕(やまやう)の緑色したまゆ

カブトムシの森を!!

「カブトムシの森づくり」実施報告

12月16日(日)オオムラサキ自然公園において約30名が参加して「カブトムシの森づくり」を行いました。雑木林が生きものにとって大切な林である事を体験して、理解を深める事をねらいとしています。作業をはじめる前にオオムラサキセンター職員から、カブトムシが好きな環境や1匹のカブトムシが成虫になるまでに3リットルの腐葉土を食べること、落ち葉が微生物によって腐葉土になること、何故、秋に葉が落ちるかといった事の解説を受けた後、参加者は手分けをして落ち葉をかき集めたり、幅1.5メートル、奥行き3メートルの長方形の囲いを作って中に腐葉土と落ち葉を被せてカブトムシの家をつくりました。その中に親子で沢山のカブトムシの幼虫を放したりして大喜びでした。この他、落ち葉の焚き木で焼き芋大会を行い、子供たちは「おいしい」を連発していました。

= 冬期休館のお知らせ =

12月28日(木)~

1月4日(木)

の間は、休館します。